



# 毎月19日は 仕事探しの日

毎月15日号で、市と姉妹都市の締結をしている韓国・金海(キメ)市の広報紙を紹介しています。

慶尚南道では、就職口を創出するための施策として、毎月19日を仕事探しの日と設定し(\*1)、市や郡を巡回して「仕事探しの19-day」を実施しています。「19-day」は、単に1回きりの求人求職行事ではなく、自治体が定期的に直接現場を訪れる採用博覧会で、開催地域からの勤務が可能な圏内にある企業が参加し、実質的な採用につなげるものです。

7月19日に金海市役所大会議室で初めて開催された博覧会には、54の企業と800人ももの求職者が参加しました。そのうち176人を対象に、その場で面接を実施。即11人の採用が決まり、2次面接後に97人が採用されるなど好評を得ています。



大勢の求職者が参加した採用博覧会「19-day」

また、この日の行事には、金海女性人材開発センターや金海シルバー雇用創出支援センターなどが参加し、多様な階層の求職者たちに実質的なサポートができるよう、職業心理検査や雇用保険、創業資金、就職斡旋窓口などの雇用情報を案内。間接的に参与した20企業も、就職希望カード72人分を受け付けました。

(\*1) 韓国語で「仕事を求める」という単語と19という数字の語呂合わせ。日本で26を「ふろの日」とするのと同じ

(金海市広報紙572号)

\*この原稿は、市民サービス協働化提案制度として、平成20年度から「パラムむなかた(福岡教育大学船津研究室から名称変更)」が翻訳しています

■問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311

## 世界遺産への道 第21回

### とも 鞆の浦から学ぶ

広島県福山市の鞆の浦を舞台に、海を埋め立ててバイパスを通すことに反対するグループが、県や市を相手に起こした裁判。昨年10月、広島地裁は埋め立て差し止めの判断を下し、埋め立て反対派に軍配が上がりました。

近代的な建物があるものの、実際に町並みを歩くとその時代にタイムスリップしたかのような不思議な感覚に陥ります。ここまで当時の景観が残っていることは奇跡的と言えます。作家の宮崎駿さんは数年前、この集落を一望できる高台に部屋を借りて、「崖の上のポニョ」を創作したそうです。



高台からみた鞆の浦

しかし、実際にここで生活している人たちは不便を感じています。特に集落内の道路は狭く、常に車のすれ違いには気が使います。特に緊急車両がスムーズに通過することができません。実際、県や市、住民の大半も埋め立てを推進し、バイパス建設を望んでいました。それでも文化的景観は国民の財産として公益制が高いとされたのです。今後も推移を見守りたいと思います。

宗像市に置き換えて考えてみると、宗像大社辺りや津宮周辺や大島など、まだまだ集落景観や自然景観が保たれ、東京から来た人などは必ず「とても懐かしい景色だ」と言います。これが宗像の自慢できる点の一つであり、何にも変えたい価値のないのです。不便で生活しにくいと感じることもあると思いますが、自然が残っています。海が美しく、おいしい玄海の幸が獲れることも、この自然環境が保たれているからこそのことだと思います。

世界遺産登録活動は、こうした自然保護や文化財の保護を目的に、農業や漁業を含め、生活環境の保全にもつながっていくものと考えています。

【世界遺産市民組織 設立記念講演会】  
講師の西谷さん  
立を記念して講演会を開催。「宗像・沖ノ島関連遺産群」専門家会議委員長で九州歴史資料館館長の西谷正さんが、遺産の魅力や登録に向けた現状などを話します。入場無料。  
日時 9月26日(日) 午前10時30分開場予定  
場所 アクシス玄海  
問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(36)1372

## 田熊石畑遺跡と古代のムナカタ展 ~海人たちの足跡~

市では、田熊石畑遺跡の国史跡指定を記念して文化財企画展を実施。

入場無料。

●期間 10月9日(土)~同31日(日) 10:00~17:00

\*入室は16:30まで

\*同12日(火)、同18日(月)、同25日(月)は休館

●場所 宗像ユリックス2階・市民ギャラリー

●内容 「田熊石畑遺跡」出土の武器形青銅器や、弥生時代から古墳時代にかけてのムナカタ族の活躍を物語る暮らしや祭りに関する出土品を展示。そのほか、国の登録有形民俗文化財に登録された「玄界灘の漁撈(ぎょうろう)用具及び船大工用具」、福津市出土の日本最古の青銅器なども見どころ



田熊石畑遺跡出土の武器形青銅器など

\*期間中に一部展示替えを予定

■問い合わせ先 市民活動推進課文化財係 ☎(36)1540

## 第3回 ブルガリア共和国カザンラック市との交流

市では、9月にブルガリア共和国カザンラック市とパートナーシップ協定を締結します。今までのような交流をしてきたのかを紹介いたします。

毎年グローバルアリーナで開催されている「ブルガリアフェスティバル」。その期間中に、「ワールドフェスティバル」として、ブルガリアに限らず世界中のさまざまな歌や踊りを、市内や県内に在住する留学生らが披露したり、各国の料理を屋台で振る舞ったりする国際色豊かなイベントを開催しています。

カザンラック民族舞踊団も、2007年のワールド...



民族舞踊団と観客が一つになって踊る「輪踊り」

公演と違い、かなり間近で舞踊を見ることができず。公演の最後は、観客も参加して一つの大きな輪になってステップを踏みながら踊る「輪踊り」や、公演後は、ダンサーや楽団のメンバーと記念撮影会を開催。そのほか、ブルガリアの民族衣装の試着体験コーナーなどを設置して、民族舞踊団との交流を深めています。

この機会に、ブルガリア...

アの雰囲気を楽しみつつ、世界の料理や文化を味わってみませんか。

### 今年も開催します 「世界の味横丁」

宗像地域国際交流連絡協議会では、グローバルアリーナ主催の「ブルガリアフェスティバル」の中で、身近な国際交流を目的に「世界の味横丁」と題して屋台を出店します。各国の料理を通じて世界を体感してみませんか。

日時 9月19日(日) 午前11時~午後3時  
場所 グローバルアリーナ(吉留)



十数カ国の屋台が楽しめる「世界の味横丁」(昨年)

内容  
▽パプアニューギニア、ナイジェリアなど十数カ国の屋台  
▽民族舞踊団をはじめ各国の歌や踊りなど  
問い合わせ先 同協議会事務局(市民活動交流室内) ☎(36)0311